

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 大熊勝明

# JR東労組

# 本部OB会

# ニュース

No. 153 2011年1月 発行

## 中央本部からエルダー専門組織の設置を呼びかける

去る十二月三日、JR東労組本部・大会議室で「エルダー組員会（OB会員）」と本部役員との意見交換会が、昨年に引き続き開催されました。  
意見交換会には、本部・石井副委員長を始め、本部役員・OB会三役、そして全国十二地本の責任者とエルダー組員会の総勢五十三名が参加しました。

### 本部からの問題提起

意見交換会は、君塚中執（OB担当）の司会で始められ、主催者の石井副委員長が「たしる選挙」のお礼を述べた後、「エルダー制度は良い制度だが、まだ問題点もある。会社は今「病氣」に罹っているが、闘う主戦場は職場なので、今後も宜しく願いたい」と訴えました。

## エルダー制度の問題点を検証！

### 多んでお铲やみ拷し惧げます



殿る洗企奉疎泣、JR 澎汐寥介洛把鏑墓揪宏湯さんが告覽殿されました。揪宏さんは拒糲獨匙を黎片に惟つて福苞し、寥主鏑の港脱と喀眷と寥駿を好るために食瓢されました。

また沛茫に「栏扯汐漂英なり」と钙び掛け、OB柴の冯喇にも吭蜗された庭れた回瞥矣でした。看よりご探省をお悼りいたします。

確定して、分会の行事や諸活動に参加し易い体制を早急に構築していきたい等の問題提起がありました。

### 職場改善を求める声が…

討論では、各地本のエルダー組員会や責任者の延べ二十三名からさまざまな意見が多岐に亘り出されました。出された主な意見は次の通りです。

- 出向先の労働環境が悪いので、途中で辞める人が多い。
  - 他地本から出向で来るエルダー組員会の分会所属がはつきりしていない。
  - エルダー組員会には、選挙やハガキ行動の依頼以外は、分会行事などの連絡が滞っている。
  - 今までの「退職者の会」一年二回開催を毎月開催するようにした。
  - 地本で「エルダー組員会」を結成し、系統を超えた議論をして良い結果を得ている。
- またエルダー制度そのものに関わる問題として、①エルダー社員の休日数については、JR本体の年間百十四日を下回らないようにしてほしい、②出向先の業務遂行のための教育については、業務に携わる時に責任を



持つて十分な教育を施すこと。③出向先を決定する際には、十分な事前説明をすること。の3点について再度本部・本社間で協議していただけるように強い要望が出されました。

### 制度の問題は本社と協議する

最後に、柳業務部長が、①グループ会社との労使関係がルール化されていないので、難しい面もあるが、問題解決に向けて今後も努力する、②エルダー制度の問題については、本社と話し合っていく、③今後もこの意見交換会は継続していく、とのまとめがあり、全体で確認し合いました。

### エルダーの未来に大きな一歩

今回の意見交換会には、各地本の責任者も初めて参加しました。また本部としても将来のエルダー制度の見直しや組織整備に着手する等、エルダー組員会に二筋の光明が見えた意義がある意見交換会となりました。

### 〈JRバス関東本部〉

## OB連絡会が結成されました

バス関東本部OB連絡会  
事務次長 中島 諭  
去る十一月二十九日、JR東労組バス関東本部は、中央本部大会議室において「OB連絡会結成総会」を開催しました。

来賓に本部OB会から大熊会長、伊藤事務局長、石井事務局長を招き、職場からのOB会代表者を含め、参加者二十名でバス関東本部OB連絡会規則等を議論し、新役員を決定しました。

### 〈新役員〉

- 会長 鈴木 政和(館山)
- 副会長 田畑 陽司(伊那)
- ” 越川 信吾(八日市場)
- ” 石塚 広美(水戸)
- ” 来栖 健一(宇都宮)
- 事務次長 葛原 英世(東京)
- 事務次長 中島 諭 (OB担当)

懇親会では国鉄改革時、国労から別れ「国鉄自動車労組」を結成し、その後、日鉄労を結成するまでの職場での闘いに奮闘してきた苦労話などで盛り上がりました。そして各職場からの力強い決意表明を受けました。

最後に、十一月八日に分会OB会を結成したバス東京分会を皮切りに順次各分会も結成し、OB会同士の連絡・連携を密にしてJR東労組OB会との連帯の輪を拡大していくことを全員で確認しました。



# JR総連OB連絡会が国会議員要請行う

退職者連合の「対政府要求」を携え  
谷亮子議員(秘書)らに要請書を手渡す

JR総連・OB連絡会は十一月二十四日、「退職者連合」の指示に基づき、衆参五名の国会議員に要請行動を行いました。この要請行動には、大熊会長を始め四名の三役が参加しました。

今回の要請行動は、去る七月十四日に開催された第七回退職者連合定期総会で決定された「対政府要求」を来年度の予算編成に反映させるために行われました。

- 1 「対政府要求の内容は左記の通り」  
年金問題の検討にあたっては、年金受給者・退職者連合の意見が反映される場を設けてもらいたい。
- 2 医療制度は、現在「改革会議」で検討中だが、国保の運営は期限を区切り、市町村から都道府県に移行すべきである。
- 3 介護の社会化理念に基づき、必要なサービスが必要なおき利用できるようにすべきである。
- 4 所得税の公的年金控除、老年者控除を速やかに還元してもらいたい。

この日訪れたのは、竹田光明(民主)、山崎誠(民主)、川口浩(民主)の各衆議院議員と、谷亮子(民主)、山内徳信(社民)参議院議員の五名で、竹田光明議員と谷亮子議員の秘書には直接要請書を手渡すことが出来ました。



また要請行動の最後に、田城郁参議院事務所を訪れた際には、委員会出席のために事前学習をしていた田城議員本人も顔を出し、「OB会の課題についても一生懸命やるよ」と力強く声を掛けて頂き、大きな勇気を得ました。

平成二三年度の予算編成期を迎え、年金財源の二分の一国庫負担の減額や物価スライドによる年金給付の減額を求める財務省の動きもあり、介護保険の改悪も控えています。

本部OB会は、今後も退職者連合やJR総連OB連絡会との連携を強めながら、高齢者問題の解決に向けて着実に歩を進めてまいります。

## ス々に地本間交流を再開

〔西関東ブロック 横浜・八王子・大宮の地本間交流／報告〕

横浜地本OB会 幹事 阿部 秀夫

このところ滞っていた西関東ブロックの地本間交流が久々に開催されました。昨年十一月一日、神奈川県小田原市の會我において、西関東ブロックの三地本OB会(横浜・八王子・大宮)の会員、約六〇名が集まり、初めての「交流ミカン狩り」を行いました。

当日は、御殿場線の下曾我駅から約一〇分歩き、現地に到着後、直ちに収穫用のハサミを使ってミカン狩りを始めました。参加者の中には初めてミカン狩りをする人もいて、すっかり童心にかえって大はしゃぎしながら、摘み取ったミカンを袋いっぱい詰め込んでいました。

交流ミカン狩りの会場となった横浜地本OB会の幹事をしている小酒部氏の農園は、遠くには箱根の連山と雄大な富士山を眺められる高台にあり、ミカン狩りを終えた後の交流会も、時間が経つのも忘れるほどの盛り上がりを見せました。

交流会では、先の「たしろ選挙」での苦労話やかつての「マル生」や「国鉄改革等の武勇伝」に花が咲き、若組会員に「語り部」となって伝えていかなければならないと、お互いが確認し合う場となりました。

## 秋空の下、3地本OB会で初の「ミカン狩り」



この三地本OB会の交流ミカン狩りを担当した横浜地本OB会はこの交流会を成功させるために一週間前から入念な打ち合わせを行ない、会長を先頭にして準備に万全を期してきました。

そうした準備委員の数々の思いが詰まった「豚汁」や「焼きソバ」の一つが最高のつまみとなり、参加者から大変喜ばれました。

今回初めて開催された「交流ミカン狩り」は、晴天にも恵まれ、予想した人数よりも多くのOB会員が参加し、早くも来年は、八王子でやるぞ」の声も出るなど、大成功のうちに終えました。

## 小春日和の秋空の下、戦跡めぐり

〔千葉地本OB会／秋季ハイキング開催の報告〕

千葉地本OB会は、昨年十一月十四日に千葉県・内房総の館山で、恒例の秋季ハイキングを開催しました。

当日は、好天に恵まれ、館山駅に集合したOB会員たちは、鈴木政和幹事(JRバス関東館山分会OB)の案内役で、館山駅→館山港にある水上飛行機の格納庫・スロープ→赤山地下壕→光ゴケ(藻)と沼の珊瑚→城山城のコース順で散策しながら全長一〇キロ近くを歩きました。

戦跡めぐりでは、戦闘に参加する水上飛行機が館山港から飛び立った説明を聞いたり、飛行機の形をした掩体壕(格納庫)などを踏査し、終戦から六五年経った今日でも、当時の戦争の名残を感じることができました。



今回の秋季ハイキングには、家族も含め十九名が参加しましたが、「たしろ」参院選を一緒に闘った東京地本のOB会員(千葉県在住)にも参加を呼び掛けたことから、東京地本所属の会員も参加して頂き、お互いの親睦を深めると共に有意義な交流の場となりました。

## 皆で創ろう『我らの声』

### 原稿募集

私達OB会は、今夏の参院選において「たしろかおる」を国政に送るという快挙を成し遂げました。そして今、超高齢化社会を迎える中で、高齢者が直面する諸問題に挑戦して「安心して健やかでゆたかに暮らせる社会」の実現めざして活動を推し進めています。今年からはOB会員に喜んで読んで頂ける『我らの声』を創ろうと企画を練り、多くの会員に投稿を呼び掛けています。

- 原稿は形式自由で、概ね1,600字〔2頁〕以内とします。
- 勿論テーマは自由ですが、下記のテーマで執筆頂けると、ありがたいです。

OB会活動／日常生活／趣味・サークル・ボランティア活動／地域社会への関わり／医療・介護・福祉活動／私の健康法／戦争・平和・政治・経済・労働運動／エルダー職場あれこれ

- 原稿締め切り: 2月28日
- 原稿送付先: 各地方本部のOB担当者・OB会役員まで